懇談会開催日:令和6年6月17日(月)

地区:沼木

要望・意見内容	市長回答
伊勢市も狩猟免許取得に補助金を交付するとのこと。沼木地区では若者が二人免許を取得した。アルバイトしながら猟をしている。昔は猟と農業で食べていたが、今は難しい。後継者を育てるためにも、鹿の価格を1頭9,000円から15,000円に上げてほしい。	猿については、二年前に価格を上げた。猟友会などからも情報を得ながら、検討したい。
子ども自立塾の子ども達が休憩時間に特別教室棟の一室で卓球をしているが、狭い。体育館を使えるよう検討してほしい。	要望について確認します。
子ども達が体育館でレクリエーションができるようにと考え要望したが、ワックスをかけないと体育館として貸せないと言われた。	要望について確認します。
子どもが減ってきて、どこの保育園も苦しい状況である。それぞれの園が運営できるようにしたい。先日みどり保育園に入りたいというお子さん二人に来ていただき、自然環境については評価してもらったが、災害時に道が怖いと言われた。猿や猪が山の斜面を駆け上がることが道路の落石の原因となっている。また、牛草山に熊が出たという話を聞いた。調査と対策をお願いしたい。	熊の目撃情報については、しっかり確認したい。先日、風輪から矢持まで歩いてみたが、落石があり歩きにくかった。対策していきたい。また、7月から道路の異常などをLINEで通報できるようにする。活用していただきたい。
旧沼木中学校裏にある物置が痛んでいる。撤去してほしい。	確認し、対応します。
沼木まち協の染め物委員会は、物置のそばで作業している。干場が欲しいので、骨組みだけ残していただくことはできないか。	検討します。
市立図書館に新刊が少なくなった。本が老後の楽しみ。図書館の充実をお願いします。	子どもの読書を支援している図書館があり、職員に視察に行ってもらった。その取り組みのキーパーソンを伊勢へ招聘することができ、今は意見を聞いているところです。新刊などしっかり対応していきたい。
人口減少により、自治体の消滅が話題になっている。沼木も危ないと思っている。上野小学校、みどり保育園、沼木支所などインフラが重要。子育て世代向けのソフト対策の充実も必要。財政支援などしっかりやって欲しい。	財政支援に関しては、今年から経済的に厳しい家庭に対し受験料や模試への支援制度をスタートした。
上野小学校はあと10年で統合されるのか。	上野小学校の統合に関しては、今すぐ統合ということはない。ただ、子どもの数が減っている状況の中、この先仮に複式学級となった場合、我慢していただけるかということになる。また、人間関係が固定化されることにより、いじめなども懸念される。やはり二学級は必要と考えている。オンラインを使って授業を確保するという手段もある。地域、保護者の方々の気持ちやまとまっていくことが重要。しっかり議論していきたい。

要望・意見内容	市長回答
沼木支所は統廃合されるのか。	支所に関しては、現状維持という考えと、郵便局に委託し担っていただくという考えがあり、検討を進めている。能登半島地震被災地の例で、支所が役に立ったと聞いている。
伊勢市駅前の健康福祉ステーションを見学した。6階の子育て支援センターへ行く際、入り口が分かりにくかった。また立体駐車場は傾斜があり駐車するのが怖かった。もっと市民が訪れやすい入り口になることを期待します。	民間が所有している施設ではあるが、できる限り改善したい。
沼木まち協の法人化の検討をしており、市民活動センターなどへ相談している。サポートをお願いしたい。	市民活動における中間支援をひとつのテーマとして考えていきたい。
今年の暮れで沼木バスが11年になる。41万キロ走った。修理を重ねている状況。車両の入れ替えをお願いしたい。	確認し、後日回答します。
まち協だけでなく、自治会に対しても、このような場を設けてほしい。	呼んでいただければ、対応させていただきます。